



土気南中

学校だより 第8号
令和7年3月10日(月)
千葉市立土気南中学校
千葉市緑区あすみが丘4-38
Tel 043-295-0777

「行事で育つ生徒たち」

校長

3月3日(月)に3年生を送る会が行われました。1、2年生の3年生に感謝の気持ちを伝えたいという思いを込めた出し物と合唱、それに対して迫力のある合唱でその思いに応え、お礼の気持ちを伝える3年生。それぞれの生徒の思いが伝わる素敵な行事となりました。

行事が好きな本校の生徒たちが、行事を通じて著しく成長していくことは、本当にうれしい限りです。

演じる・踊る・歌う 思いがあふれるアリーナ — 三年生を送る会 —

3月3日(月)、毎年恒例の三年生を送る会がアリーナで行われました。全体のテーマ「伝統をつなぐ」をもとに1・2年生の心づくしの準備が行われました。

朝、3年生が登校すると、1年生からの一つ一つ手作りの招待状が銘々の机の上においてありました。きれいな紐をほどくとメッセージが現れ、プレゼントボックスのようなデザインが目を引きました。

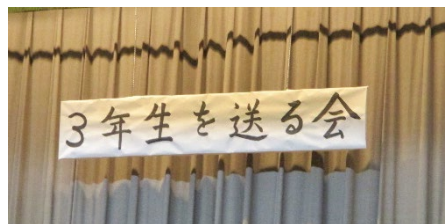
わくわくした気持ちで、アリーナに向かうと途中の廊下に青と白を基調とした装飾があり、いつもと違う学校にますます期待が高まりました。風船とペーパーフラワーで装飾された入り口を入ると、たくさんの氷の結晶が空間に浮かび、メッセージが書かれた青を基調とした掲示物が壁面を彩っていました。これらはすべて2年生が、「紡ぐ」というテーマのもと考えた装飾で、「アナと雪の女王」の世界観を感じるものでした。

1・2年生の出し物は、3年生の思い出を再現する形で、クイズで振り返り、パワフルなダンスで彩られ、ユーモアにあふれた場面が展開しました。そして、土気南中らしくどちらも最後は美しい歌声で締めくくられました。1年生はゆずの「栄光の架橋」、2年生はアンジェラ・アキの「手紙〜拝啓十五の君へ〜」を、心を込めて歌いあげました。

後輩の気持ちを受けて、3年生も歌でお礼の気持ちを表しました。選んだ曲は Mrs. GREEN APPLE の「僕のこと」。練習する時間が十分に取れない中、こちらも心を込めて歌いあげました。

卒業まであと少し、3年生にとって、また一つ中学校でのイベントが終わりました。

1・2年生の皆さん、お疲れさまでした。



ようこそ先輩 第2弾 ― ダンスで日本― 好きだからあきらめない ―

12月に本校卒業生で落語の真打ちに昇進された、「落語家・柳家かごめさん」を迎えて講演会をしていただきました。前回に引き続き、先日3月6日（木）に令和3年度の卒業生を迎えて、講演会とパフォーマンスが行われました。

迎えた先輩は、今年、茂原北陵高校を卒業したばかりの方です。事前に、各教室で先輩のダンスの映像を見て、期待に満ちていた全校生徒のわくわく感の中、講演会が始まりました。

まず、1月に武蔵野の森総合スポーツプラザで行われた全国高等学校ダンスドリル冬季大会 ミスソロ部門3年生で優勝の栄冠を受けたダンスが披露されました。ビデオで見た時よりも迫ってくる生のインパクトにみな、息をのみました。

そのあと、息も整わないうちに後輩のために講演を開始。過剰な装飾のない率直な話し方は、むしろ中学生の心に染み込んでいくようでした。小学校1年生から始めた新体操にのめりこんでいったこと。中学校に入ってから事情があって新体操をやめ、バドミントン部に入部したこと。高校に進学するとき、やはり、忘れられないダンスをやろうと決めて高校を選択したこと。茂原北陵高校でダンスに取り組んだこと。若々しい先輩の口からこぼれる思いは、卒業を目の前にした3年生には、特に様々な思いを抱かせたことでしょう。

そのあと、先輩とダンスの体験をした時には、全校生徒がステップを踏み、先生方も巻き込んで楽しいひと時となりました。

最後に行われた質疑応答では、「ダンスを続けるのにモチベーションをどう維持しているのですか」という質問に「好きなことを続けるのに、具体的な目標をもって絶対になえたいって思うこと。そして、思うだけじゃなくて行動すること。正しく努力すれば夢はかなうと思う。」 「将来の夢は」と聞かれると、「高校の体育の先生になって、ダンス部を指導して振付を考えたい。」と笑顔で返答。

思いがけず実現した先輩との交流は、3年生だけでなく1・2年生にも夢を持つことの素晴らしさを感じさせた貴重な体験となりました。

●●給食費及び学校徴収金の引き落としについて●●

3月25日(火)は、給食費(2月・3月の2か月分)の第9期振替日です。前日までに口座残高の確認をお願いします。引き落としができない場合は4月15日(火)に再振替を行います。

(学校給食費に係るお問い合わせ 市保健体育科 電話245-5909)